



2022年6月30日

リコーリース株式会社向けサステナビリティ・リンク・ローンの取組みについて
～「千葉・横浜パートナーシップ」連携施策【Vol. 36】～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 片岡 達也）との業務提携「千葉・横浜パートナーシップ」に基づく連携施策として、2022年6月30日、リコーリース株式会社（代表取締役社長執行役員 中村 徳晴）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）を協調融資により実行しましたのでお知らせします。なお、本件は「千葉・横浜パートナーシップ」のサステナブル・ファイナンスにおける協調融資案件の第1号となります。

SLLは、事業者さまがSDGs・ESG戦略における目標値となるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）を設定し、その達成状況に応じて融資条件が変動する仕組みの融資制度です。

貸出先のリコーリース株式会社は、リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業を主軸に、総合的なフィナンシャルサービスを提供しており、脱炭素社会の実現に向けて、2050年にはCO₂排出ゼロとする中長期目標を掲げています。両行は本ローンを通じて、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、サステナビリティ経営を後押しします。

本取組みの概要は別紙の通りです。

両行は、今後も連携し知見を共有しながら、サステナブル・ファイナンスの取組みを一層推進してまいります。

以上

【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

貸出先	リコーリース株式会社
貸出金融機関	千葉銀行、横浜銀行（各行個別契約による協調融資）
実行日	2022年6月30日（木）
S P T s	① CO ₂ 排出にかかるScope 1（直接排出量）とScope 2（他社から供給された電気等の使用に伴う間接排出量）を、2022年度に773.8トン、2023年度に728.4トン、2024年度に683.0トン、2025年度に637.6トン以下とすること ② CDP [※] 気候変動スコアにおいてリーダーシップレベルを維持すること
第三者意見	株式会社日本格付研究所
資金使途	運転資金
貸出形態	証書貸付

※世界の主要企業や都市を対象に「気候変動」「水」「森林」に関する質問状を送付し、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求め、その回答をもとに評価・公表しているNGOです。評価は、AとA-（リーダーシップレベル）、BとB-（マネジメントレベル）、CとC-（認識レベル）、DとD-（情報開示レベル）の8段階で付与されます。